

国際ロータリー第 2780 地区

横須賀北ロータリークラブ週報

2019～2020 年度



例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会場 かながわ信用金庫追浜支店 3階 横須賀市追浜本町 1-28
TEL 046 (866) 1515
事務所 鈴木ハイツ 2F 横須賀市追浜町 3-22-202
TEL・FAX 046 (866) 1801
URL: <http://www.yokosukakita-rc.jp/>
E-mail: info@yokosukakita-rc.jp



会 長 千葉 茂 副 会 長 前川 永久
幹 事 平林 祐樹 会 報 委 員 長 小菅 健史

第 2778 回 2019 年 11 月 19 日『火曜日』横須賀北 R C

点 鐘
合 唱 「横須賀北ロータリークラブの歌」
司 会 千葉 茂 会長
ゲスト
ビジター
誕生日祝
入会記念日のお祝い



「出席報告」

(本日)11月19日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
27名	26名	12名	46.15%	7名	19名	73.08

(前々回)11月5日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
27名	26名	18名	69.23%	3名	21名	80.77%

「メーカーキャップされた会員」

11/12 横浜日吉ロータリークラブ 石井伸二会員

「ニコニコBOX」

横須賀西ロータリークラブ 長島澄雄様 (11月12日例会)

「とんかつ勝」での例会にお邪魔致しました。宜しくお願い致します

三役 皆様こんにちは。師走に向けて何かと忙しくなる時期ですが、お身体にだけはお気を付け下さい。
小菅委員長、山田委員長より一宜しくお願ひ致します
飯倉正俊会員 小菅委員長「ローターの友紹介」山田委員長より一宜しくお願ひ致します



ニコニコBOXの合計は 5,000 円(累計 238,395 円)
財団BOXの合計は 7,572 円 (累計 42,658 円)
ご協力有難うございました。次週も宜しくお願ひ致します

「会長あいさつ」

先日の新会員の歓迎会には17名の方のご参加がありました。ありがとうございました。来月も懇親を深める為に17日は夜間例会。1月には新年家族会で「琴・尺八」の演奏を予定しております。ご家族の方もお誘いのうえ大勢の方のご参加を宜しくお願ひ致します



「幹事報告」

- ◎ガバナー事務所よりホリオ根絶チャリティコンサート企画のご案内
日 時 2020年4月5日(日)
会 場 茅ヶ崎文化会館 大ホール
スピーチ インターナショナル・ホリオプラス委員会委員 小沢一彦様
- ◎横須賀ロータークラブ・三浦ロータークラブ・横須賀西ロータークラブ・横須賀南西ロータークラブより例会のお知らせ受領
- ◎配布 ①ローターの友 ②ガバナー月信
- ◎回覧 ①ハラトよねやま 236 ②交換派遣学生岡野希海さんより報告書
③2019年合同例会収支報告 ④12月17日夜間例会出欠回覧
- ◎本日は11月最終例会ですので財団BOXを廻します



「委員会報告」

「スピーチ」

【ローターの友11月号紹介 小菅 健史 雑誌委員長】

横 P8-13 11月はローター財団月間 世界で良いことをする

- ・未来の礎となる財団
- ・重点分野における過去5年間のグローバル補助金
- ・ローター財団寄付・ローター財団認証

横 P16-18 祝 米山梅吉記念館創立50周年記念式典 開催

- ・年々増える来館者数
- ・梅吉の魅力を十二分に伝えた記念講演
- ・梅吉の曾孫に聞く 曾祖父から受け継いだこと 米山 淳さん

横 P28 ミャンマー米山学友会

- ・ローターアンと共に支援活動



【水道民営化法案成立のその後 山田 秀雄 会員】

2018年12月6日改正水道法が成立しました。
これによって水道民営化がいよいよスタート致します。



なぜ水道民営化を行わなければならないかは、依然お話をさせて頂きましたが、各自治体が所有する水道施設の運営、管理、メンテナンス、各配水管の耐用年数による入替えによる費用の確保、そして人口減少による水道料金の収入減で各自治体の運営が先行き厳しくなる事があげられます。

ちなみに横須賀市の場合水道配水管の入れ替え費用は、総延長距離 1478 km、1 km 当たり 1 億円ですので約 1478 億円が 40～50 年に一度掛る計算になります。

しかし、年々配水管の材質が向上し対応年数も大幅に向上し半永久的にまでなっておりますので今後は費用軽減になると思います。

ただ、水道民営化については、既に民営化されている電気やガスとはかなり異なります。

電気やガスは使用者個人が料金設定やサービスを参考に自由に会社を選べます。しかし水道については、現在皆さんが水道料金を支払っている各自治体が運営会社を選定し丸ごと運営、管理、メンテナンス、配水管の入替等及び料金徴収までの経営権を引き渡す契約締結を行います。

横須賀に於いても 横須賀市上下水道局が運営会社を選定し、コンセッション方式（施設、設備等は横須賀市が所有し、経営権は運営会社）で契約締結となります。

横須賀市も以前、導入されていた横須賀市指定給水指定店制度が復活する事になり着実に準備を進めているようです。

実施時期においては各自治体により異なりますが、早いところでは、2020 年から導入する自治体もあるそうです。

ただ誤解してはならない事は、マスコミやインターネット上で必要以上に不安を煽る傾向がありますので冷静に見守ることが重要です。

横須賀市に於いても、当然市民の声や横須賀市市議会の可決がなければ先に進まないはずで、今後も成り行きを注意深く見守ることになるでしょう。

***指定給水工事店制度とは、たとえば横須賀市の上下水道の条例、規則を適切に履行し市民に上下水道を提供する事が出来る市より認可を受けた会社です。これによって水道民営化に選定された民間運営会社が勝手に市上下水道局の条例等にそぐわない会社の選定する事が出来なくするために復活させました。**

又、神奈川県は水道民営化になった場合、六か所の民間運営会社が出来ると思われ、川崎、横浜、横須賀、三浦、小田原 後は神奈川県水になると思います。現在ある各上下水道局は全て市や県の予算とは別の独立採算で運営しております。

ですのでより慎重な運営会社の選定が求められます。

